

地域学校協働本部について

1. 地域学校協働本部概要

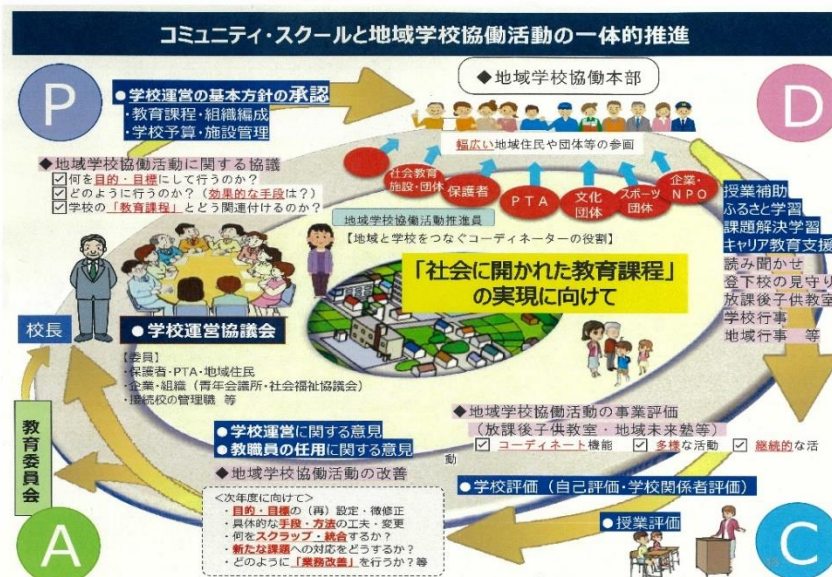
「地域学校協働本部」は、平成27年12月の中教審答申（地域と学校の連携・協働）や平成28年1月の「次世代の学校・地域」創生プランに基づき、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画により、**地域全体で子どもたちの学びや成長を支え**るとともに、「**学校を核とした地域づくり**」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して様々な地域学校協働活動を推進する体制である。具体的には「**学校支援活動**」・「**放課後子ども教室**」・「**地域未来塾**」（これらを包含して地域学校協働活動という）によって構成され、本村では豊根村教育委員会生涯学習係が所管し実施している。

○学校運営協議会との関係

平成29年4月施行の改正社会教育法では、地域学校協働本部の中心となり、地域住民等と学校との調整、活動の企画立案を行う「**地域学校協働推進員（コーディネーター）**」について規定。

さらに地教法第47条の6に定義される「学校運営協議会」では2項で学校運営協議会の委員の任命について、「社会教育法第9の7第1校の『**地域学校協働活動推進員**』等の学校の運営に資する活動を行う者」を委員とすることを定め、**学校運営協議会と地域学校協働本部が両輪となって行われることが重要**となっている。

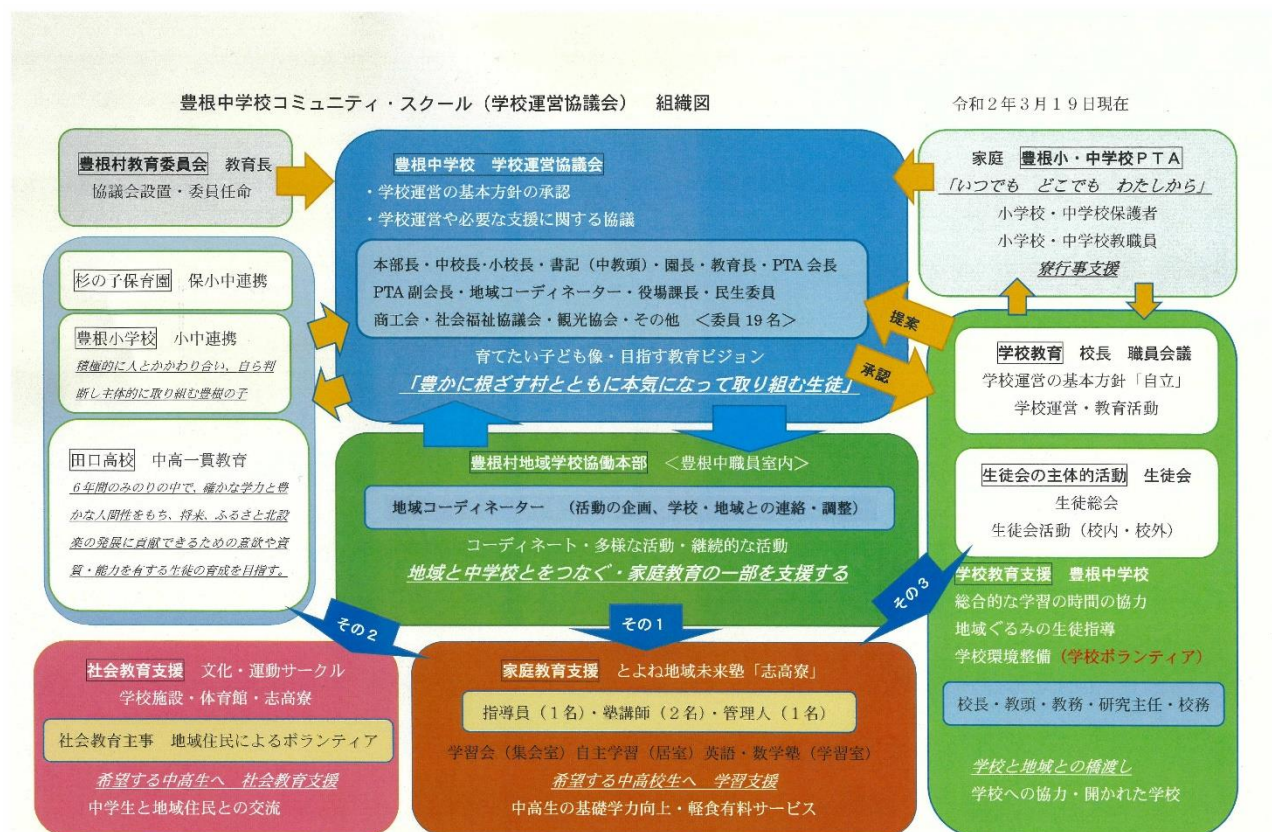
平成28年12月中教審答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」や、「幼稚園教育要領、小中学校学習指導要領等の改定のポイント」で、学校は「**社会に開かれた教育課程**」の実現を目指し、教育課程の実施には、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会共有・連携しながら実現させることが重要であるとしている。



2. 本村における地域学校協働本部の活動取り組み経過

本村では、昭和 51 年から豊根中学校寄宿舎志高寮が開設し 44 年間経過したが、保護者の教育観の多様化、バス路線の確立、生徒数の減少といった理由から、令和 2 年度より寄宿舎機能を無くし、新たに社会教育施設として再スタートした。当初、この施設を地域と学校と家庭を結ぶ核とする地域学校協働本部として利用する計画であったが、検討の結果、中学校職員室の一角に地域学校協働本部の机を置き、令和 2 年 4 月 1 日より正式にスタートした。

3. 本村における現在の地域学校協働本部事業実施体制と実施状況



4. 本村における取組み事例

令和2年度「地域学校協働活動」 『とよね地域未来塾』

取組の概要や経緯

令和2年4月より、社会教育施設「志高寮」を学習塾として有効に活用。
全校生徒の45.9%が、とよね地域未来塾に参加している。当初、新城と津具で塾を開いている専門講師を予定していたが、事情により退職した教員と大学を卒業した男性に講師を依頼した。

内容

開講日は、月・火・水の週3日。
月曜日に英語、火曜日に数学、水曜日は自主学習としている。

成果

家でひとりの方が勉強がはかどる、塾の方が勉強がはかどるという意見が半々である。
学習塾の成果だけではないと思うが、2学期終業式で校長は皆さんの学力は素晴らしく伸びていると述べている。また、10月のアンケートでは、保護者一部でありがたい環境であると回答している。

今後の方向性

都会のような学習塾がない環境の中、生徒をどうサポートしていくかが大事である。今後も継続していく。先生を増やしていほしいという希望もあるが、講師をどう探していくかが大きな課題である。



令和２年度「地域学校協働活動」 『地域サークル等活動』

取組の概要や経緯

豊根村では体育協会や文化協会に加盟する団体が、それぞれ活動を行っているが、そのほとんどが地域住民の集りであるため、地域の子どもも参加することで、子どもも地域の一員である自覚を持ってもらいふるさと愛を育むこと目的として実施した。



内容

- 卓球クラブ
- 野球サークル
- みどり湖 RUN ♪ RUN ♪ RUN ♪
- 横笛サークル
- スキークラブ



成果

様々な地域の方々の参画を得ることで社会総掛かりでの教育活動に対する理解が深まるばかりでなく、より豊かな教育活動が展開できる。子どもたちと地域住民との間で世代間交流を行うことができた。



今後の方向性

児童生徒数が減っていく中ではあるが、地域の方との交流やつながりを持てる活動を今後も積極的に実施し、子どもの自己肯定感を高めていく活動を展開していく。



令和２年度「地域学校協働活動」 『学校応援ボランティア』

取組の概要や経緯

令和元年度、小中それぞれの PTA が統合し一つの PTA になった。

児童生徒数の減少に比例して、保護者数、教職員数も減少してきた。学校の周辺環境整備であったり、学校の教育活動を良くするために地域の方の力を借り幅広く応援することを目的に学校応援ボランティアを立ち上げた。

内容

- 学校周辺環境整備（草刈り）
- 学校簡易修繕
- 小中 PTA 活動への協力
- 部活動、サークル活動指導



成果

令和２年度当初からボランティア募集を行い、地域住民の方 15 名、1 団体から登録申出があった。

令和２年 8 月 29 日（土）豊根小中学校親子環境美化活動が実施され、本ボランティアから、5 名が参加協力した。

今後の方向性

学校と地域の連携・協働には、地域が学校のことを知ったり、学校の要望に応じていくことも大切である。今後も様々なボランティア活動を展開していく。

令和2年度「地域学校協働活動」 『その他の地域学校協働活動』

星空教室

令和2年12月21日

土星と木星が400年ぶりに最接近した。ボランティア登録している青山さんに講師をお願いし、話を聞いたり、天体望遠鏡で観察を行った。木星は4つの衛星が、土星は輪が見え、早く集まった一部の生徒は奇跡のような現象を観察でき星空もきれいな故郷を再認識した。



豊かに根ざすくらし Study

令和2年12月10日（木）（志高寮）

学校応援ボランティアに登録している商工会青年部が主催し開催。将来、豊根に変えるきっかけになることを願い、村内の職場を生徒に紹介する企画。

第1回は、熊谷建設㈱と豊根村消防団で普段行っている建設の仕事内容、消防団活動の内容をそれぞれ30分程度にわたり紹介した。今後も年数回開催を予定。



事業所訪問 ～チョウザメ関連施設～

令和2年12月24日（木）

生徒会主催で「事業所訪問」が開催され、チョウザメに興味のある生徒たちが参加した。

今回は、実際に腹を切り開いてキャビアを確認したり、キャビア加工をする施設（旧学校給食調理場）を見学。最後には試作品のキャビアを試食した。



コミュニティー・スクール文化「ミニ芋煮会」

令和3年1月20日（水）（社会教育会館）

豊根村茶臼山で有名な「芋煮会」。

学校に隣接する社会教育会館の調理室を使い、希望者による小集団での料理教室を開催。

今回は、男子生徒4名が参加した。

地元の荒川さんを講師に迎え、芋のほか野菜、牛肉も食材に入れた豪華な芋煮に舌鼓を打った。

